

総務文教委員会 行政視察概要

【 福岡県朝倉市 】

- 1 日 時 令和6年10月22日（火）午前10時30分～午後0時00分
- 2 場 所 福岡県朝倉市（朝倉市役所）
- 3 視察事項 公共交通について
- 4 参加者 委員長 松村 太 副委員長 池田 芳隆
委員 川上紗智子 委員 平田 清吉
委員 豊永 貞夫 委員 宮原 将志

5 内 容

地域公共交通について、朝倉市では東西に国道が貫き、民間バス会社が5つの路線を運行し、多くが平均乗車人員10人未満です。路線バス等の廃止代替施策として、事前予約型あいのりタクシーやコミュニティバスを導入し、交通空白地区の解消を図られており、その経緯を学び活用することが目的です。

6 ま と め

移動手段の維持と運営支援の兼ね合いが課題であるが、特に移動困難者である個人に向けた支援に重点を置いて、交通空白地区から町なかへの移動の乗継ぎ回数減や、乗継ぎ地点の整備等の利便性向上を検証しながら、施策を改善されていることを活用したいと考えます。



総務文教委員会 行政視察概要

【 香川県丸亀市 】

- 1 日 時 令和6年10月23日（水）午前10時00分～午前11時30分
- 2 場 所 香川県丸亀市（丸亀市役所）
- 3 視察事項 公共交通について
- 4 参加者 委員長 松村 太 副委員長 池田 芳隆
委員 川上紗智子 委員 平田 清吉
委員 豊永 貞夫 委員 宮原 将志

5 内 容

丸亀市では持続可能な交通サービスを確保するために、行政・市民・事業者等が協働するとされています。市町合併により市域が変則的に拡大し、網羅的に整備した結果、町なかにも交通空白地区ができ、デマンド交通の有効性を検証する社会実験をされており、それを学ぶことが目的です。

6 ま と め

デマンド交通社会実験は、一つの学校区内での移動手段の実験で、11か月の期間で校区内人口の1割程度の利用数であるが、利用満足度は高いという結果でした。また遠隔部では、ボランティアドライバーによる高齢者の移動支援事業が行われ、人材確保や経費とサービス体制の維持が課題でした。そのためにニーズの的確な把握と最適なシステム構築などの検証が必要であることが理解できました。



まるがめ市
Marugame City Demand Traffic
デマンド交通

丸亀市デマンド交通が
更に便利になりました!

POINT 01 コミュニティバスの全ての停留所で乗換が可能に!

POINT 02 お得に使える回数券を販売開始!

1回乗車より200円お得!

NEW 回数乗車券 4枚綴り 1,000円 ※1乗車あたり250円

乗車料金 大人・こども共通 / 1人1回 300円

幼児（未就学児） ※有料乗車1名につき2名まで無料

総務文教委員会 行政視察概要

【 山口県周南市 】

- 1 日 時 令和6年10月24日（木）午前10時00分～午前11時30分
- 2 場 所 山口県周南市（周南市役所）
- 3 視察事項 部活動の地域移行について
- 4 参加者 委員長 松村 太 副委員長 池田 芳隆
委員 川上紗智子 委員 平田 清吉
委員 豊永 貞夫 委員 宮原 将志

5 内 容

部活動改革に係る周南市の取組は、令和8年度から市内全域を対象に平日、休日为一体として、関係団体主体で管理運営する「周南市地域クラブ」を新設し、活動することを目指しています。中学生の「やってみたい」に応える、多様な地域で、多様な世代とともに、多様な活動への参加可能な環境や中学生の居場所づくりに向けた取組を学び、本市に生かすことが目的です。

6 ま と め

全国に先駆けて「周南市こどもまんなか宣言」をされ、広告等で全市に周知を図られています。その成果は新地域クラブ事務局に、スポーツ関連60団体、文化芸術関連40団体が加盟予定とのことでした。また各中学校区に、放課後に中学生が「つどい」「企画立案」して地域の多世代とつながって活動する「しゅうなんコミュニティ・クラブ」を計画し、幅広く中学生の放課後の活動の選択肢を確保されています。同時に実践研究や関係者アンケート、説明会、体験会、シンポジウムなどを複数回実施し情報公開されています。全市を挙げた中学生の受け皿づくりの機運をぜひ本市でも実践したいと感じました。



進む少子化によって、市内中学校においても、学校部活動の選択肢が少なくなっており、中学生のやりたい部活動が選べなくなりつつあります。このため、本市では、中学生のやりたい活動ができる環境整備をめざし、部活動改革を推進していくための方針を策定しました。

基本方針

本市では円滑な部活動改革を推進するため、次の3点を基本方針としています。

周南市地域クラブの基本方針

「やってみたい」	「多様性」	「地域の居場所」
市内すべての中学生の「やってみたい」に応えられる環境づくり	多様な地域で、多様な世代とともに、多様な文化芸術・スポーツ活動等への参加が可能な環境づくり	中学生の居場所のひとつとなる環境づくり

学校部活動改革の方向性

- ① 令和8年度から新たな活動の開始をめざす
- ② 市内全域を対象とした新たな活動を行う
- ③ 平日、休日为一体として新たな活動を行う
- ④ 事務局を設置した仕組みづくりを行う